令和７年度　授業計画

ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教科名	数学	科目(単位)	数学Ａ（２単位）	選択相手科目	倫理 ビジネス法規 手芸
授業形態	選択授業・　分割授業　・　ＴＴ				
使用教科書	最新　数学Ａ（数研出版） （前年度から継続使用）			副教材等	NEW POWER ON　数学Ⅰ＋A （東京書籍） 実用数学セミナー （浜島書店）

１　科目のねらい（目標）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

図形の性質、場合の数と確率を学習する中で、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。また、図形の性質を見出し、論理的に考察する力、確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断する力に着目し、数理的に考察する力を養う。

２　科目の内容と授業の進め方

数学Ａで到達すべき、整数の性質の内容について、教科書の例題で基本的な解法について身に付けてから、副教材で類題を多くこなすことで、習得を目指します。

また、疑問に思うことは自分の納得するところまで、最後まであきらめずに取り組んでいこうという姿勢を大切にしています。授業の進度もそれに合わせて、柔軟に進めていきます。

３　学習の方法

・絶えず世の中の自然現象や社会現象に疑問を持って生活してみましょう。「なぜ、雨は降るのか。なぜ、月は姿を変えるのか。なぜ、石油の値段が上がるのか・・・」これらの事象には全て理由があります。その理由を探ってみようとする気持ちが大切です。数学はそんなとき大いに役立ちます。
・他人の考えは大切にしましょう。人の話の中に思わぬ発見があります。だから仲間と学習するのです。特に数学は答えを出すまでの筋道が大切です。日頃から人の話に耳を傾けましょう。
・具体的な学習方法ですが、まずは授業を大切にしてください。流れに沿った継続的な学習はとても効果的なものです。授業はその流れの源になります。授業→復習→予習→授業の流れが身に付けば、それが大きな実力につながっていくはずです。
・特に確率や図形の学習は実生活に応用が利くものばかりです。日ごろ生活する上で、数学の学習がいろいろな所に役立っていることを学びましょう。

４　課題・補習について

・課題はありませんが、定期考査は実施します。（年４回）
・ノート点検は、考査直前に行います。（年４回）

５　観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

ビジネス情報科・ビジネス科　３年　Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	数　学	科目（単位）	数学Ａ（２単位）	選択相手科目	倫理 ビジネス法規 手芸

６　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法 （課題等）
4	第３章　数学と人間の活動 第１節　約数と倍数 １．約数と倍数 ２．素数と素因数分解	約数、倍数 素数、素因数分解	授業態度
5	３．整数の割り算 第２節　一次不定方程式 １．最大公約数	割り算における商と余り 最大公約数と最小公倍数	
6	２．ユークリッドの互除法 ３．一次不定方程式	ユークリッドの互除法 不定方程式	ノート提出 **前期中間考査**
7 8 9	課題学習 第３節　記数法 １．古代の記数法	 象形文字、ローマ数字	授業態度 ノート提出 **前期期末考査**
10	２．現代の記数法 第４節　座標の考え方 １．平面上の点の位置	記数法、ｎ進法 座標平面	授業態度
11	２．空間上の点の位置	座標空間	ノート提出 **後期中間考査**
12	第５節 ゲーム・パズルの中の数学 １．ゲームの中の数学 ２．パズルの中の数学	 石取りゲーム 魔法陣	授業態度
1 2	課題研究	九去法	ノート提出 **学年末考査**